



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 株式会社 丸運
 コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 市原 豊
 (氏名) 住吉 彰
 配当支払開始予定日

TEL 03-6861-3411
 平成24年12月4日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,492	△1.2	134	△69.3	159	△67.5	△57	—
24年3月期第2四半期	23,788	△1.6	438	△27.1	491	△18.7	308	△6.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △195百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 98百万円 (△72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△1.98	—
24年3月期第2四半期	10.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	39,705		18,838		46.9		645.06	
24年3月期	41,071		19,149		46.1		655.52	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,638百万円 24年3月期 18,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	48,800	△1.0	800	△11.7	800	△16.4	250	△57.4	8.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	28,965,449 株	24年3月期	28,965,449 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	71,632 株	24年3月期	71,542 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	28,893,867 株	24年3月期2Q	28,894,696 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により緩やかな回復の兆しが見られたものの、長引く円高や中国経済・欧州経済の減速等により輸出や国内生産に対して下押し圧力が高まっており、依然として先行き不透明な状況となっております。

陸運業界においては、国内貨物輸送量が前年の反動から若干上回るとの予測があるものの、国際貨物輸送は、円高の影響や震災後の生産拠点の海外シフトの進行により輸出が伸び悩み、慢性化している同業者間競争や荷主による運賃値下げ圧力等、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは、荷主の信頼に応えるために、輸送品質の向上に取り組み、全国ネットワークと多様な輸送手段を持つ総合物流企業集団として引き続き提案型営業に積極的に取り組むことで、業績確保に努めてまいりました。また、昨年に営業を開始した食品物流事業及び中国における実運送・倉庫事業を軌道に乗せることに注力しました。

これらの結果、貨物輸送部門の増収はあったものの、液体輸送および国際物流部門の減収により、営業収益は、前年同期に比べ1.2%減の234億92百万円となりました。経常利益は、自車稼働率の向上や固定費の削減に努めましたが、昨年設立した食品物流合弁会社の利益が当初の計画を若干下回っていることや液体輸送部門の減収が大きく響いたこと等により、前年同期に比べ67.5%減の1億59百万円となりました。また、当期純損失は、株安による保有株式の評価損や固定資産除売却損の発生により57百万円となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

貨物輸送

当部門の主力である一般貨物輸送においては、機工・重量品等の取扱が減少したものの、生産関連貨物が前年における大幅減の反動から持ち直しが見られたことや、昨年下半年から主要顧客の潤滑油製品輸送の元請化や食品物流事業を開始したこと等により取扱量は増加しました。

一方、鉄道利用運送は一部取扱貨物が増加したものの自然災害による輸送障害の影響等から取扱量が減少しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ4.4%の増収となりました。

なお、建設中の「羽田京浜物流センター」（延べ床面積5,536坪）は、計画どおり本年12月に営業を開始いたします。

液体輸送

当部門においては、効率的輸送に努力しましたが、ガソリン等石油製品および化成品の輸送量が内需の減退や燃料転換の進展等から減少しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ10.2%の減収となりました。

国際物流

当部門においては、既存顧客の掘り起こしや新規顧客獲得に向け積極的な営業強化を行いました。電子材料関係の輸出の回復が遅れていることや、世界的な経済の先行き不安や荷主企業の海外進出等により取扱量が減少しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ3.2%の減収となりました。

当四半期のセグメント別の営業収益は次のとおりです。

セグメント	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
貨物輸送	13,834	104.4
液体輸送	7,145	89.8
国際物流	2,407	96.8
その他	105	111.4
合計	23,492	98.8

- (注) 1. その他の事業はビル賃貸、保険代理店等であります。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は397億5百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ13億65百万円減少しました。

このうち、流動資産は94億38百万円となり、18億81百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未収入金の減少7億8百万円、現金及び預金の減少8億10百万円及び償還による有価証券の減少4億99百万円であります。また、固定資産は302億30百万円となり、5億25百万円増加しました。この主な要因は、有形固定資産の増加6億69百万円及び投資有価証券の時価評価等による減少2億30百万円によるものであります。

当第2四半期末の負債合計は208億67百万円となり、前期末に比べ10億54百万円減少しました。

このうち、流動負債は115億74百万円となり、9億39百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少5億33百万円、納税による未払法人税等の減少4億56百万円であります。

純資産合計は188億38百万円となり、前期末に比べ3億10百万円減少しました。この主な要因は、株主配当による利益剰余金の減少1億15百万円及び投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少1億29百万円であります。この結果、自己資本比率は前期末の46.1%から46.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年10月23日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,340	2,529
受取手形及び営業未収入金	6,689	6,015
有価証券	530	30
原材料及び貯蔵品	43	47
その他	727	820
貸倒引当金	△10	△5
流動資産合計	11,320	9,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,044	5,861
土地	18,329	18,305
その他（純額）	2,349	3,225
有形固定資産合計	26,723	27,393
無形固定資産	168	202
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097	1,867
その他	834	858
貸倒引当金	△119	△91
投資その他の資産合計	2,813	2,634
固定資産合計	29,705	30,230
繰延資産		
繰延資産合計	45	36
資産合計	41,071	39,705
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,289	3,756
短期借入金	4,814	4,729
未払法人税等	609	153
賞与引当金	582	594
災害損失引当金	0	—
その他	2,217	2,340
流動負債合計	12,514	11,574
固定負債		
長期借入金	4,002	3,890
再評価に係る繰延税金負債	2,393	2,390
退職給付引当金	2,130	2,164
役員退職慰労引当金	59	51
その他	821	797
固定負債合計	9,407	9,292
負債合計	21,921	20,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	9,674	9,507
自己株式	△20	△20
株主資本合計	16,291	16,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420	291
土地再評価差額金	2,228	2,223
その他の包括利益累計額合計	2,649	2,514
少数株主持分	208	199
純資産合計	19,149	18,838
負債純資産合計	41,071	39,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益	23,788	23,492
営業原価	22,215	22,194
営業総利益	1,572	1,298
販売費及び一般管理費	1,133	1,164
営業利益	438	134
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	28
受取助成金	37	23
その他	47	43
営業外収益合計	114	95
営業外費用		
支払利息	54	41
固定資産圧縮損	1	17
その他	6	10
営業外費用合計	61	70
経常利益	491	159
特別利益		
固定資産売却益	49	28
収用補償金	53	—
退職給付制度改定益	22	—
資産除去債務戻入益	—	12
特別利益合計	125	41
特別損失		
固定資産除売却損	18	42
貸倒引当金繰入額	1	—
投資有価証券評価損	—	26
投資有価証券売却損	—	2
会員権評価損	8	—
会員権売却損	6	—
減損損失	5	11
災害による損失	23	—
その他	—	11
特別損失合計	63	94
税金等調整前四半期純利益	553	107
法人税、住民税及び事業税	229	137
法人税等調整額	17	35
法人税等合計	246	173
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	306	△66
少数株主損失(△)	△2	△8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	308	△57

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	306	△66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	△129
繰延ヘッジ損益	2	—
その他の包括利益合計	△208	△129
四半期包括利益	98	△195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100	△186
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。